

2021年11月30日  
株式会社三菱UFJ銀行

## フォートレス・インベストメント・グループと「ソーシャルローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、フォートレス・インベストメント・グループ（以下、「フォートレス」）傘下の全国民間賃貸サービス合同会社及び東日本民間賃貸サービス合同会社との間で、ソーシャルローン原則に則った融資（以下「本ローン」）を実行いたしました。

フォートレスは2017年、厚生労働省所管の独立行政法人である高齢・障害・求職者雇用支援機構から、全都道府県にわたって所在する1,088団地、106,318戸の低価格賃貸住宅ポートフォリオを一括取得し、「ビレッジハウス」へリブランディング、リノベーションして賃貸住宅として提供しています。

フォートレスは国内最大級の民営の賃貸住宅ポートフォリオである「ビレッジハウス」の運営を通じて、日本国内における低価格賃貸住宅の供給不足の状況、及び、人口減少が想定される日本において、新たな労働力としての外国人労働者の居住確保という課題解決に資する日本社会における重要な使命を担っています。

本ローンは、低所得者や外国人等の住宅確保要配慮者を対象とする賃貸住宅「ビレッジハウス」取得に係るリファイナンス及びリノベーション資金等を資金使途とし、格付投資情報センター（R&I）よりセカンドパーティオピニオンを取得しています。簡易な手続きと低賃料で安心安全な賃貸住宅を低所得者等の住宅確保要配慮者を含む全ての人へ積極的に供給するプロジェクトとして「ソーシャルローン原則」に準拠していることを確認しております。

### 本ローンの概要

契約締結日	2021年10月27日
組成金額	972億円
資金使途	低所得者や外国人等の住宅確保要配慮者を対象とする賃貸住宅「ビレッジハウス」取得及びリノベーションに係るリファイナンス資金等
貸出人（五十音順）	株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行株式会社、他

<プロジェクト詳細>

適格プロジェクト	ソーシャルローン原則上の分類
ビレッジハウスプロジェクト	手ごろな価格の住宅の供給



外装・共用部のバリューアップ事例（R&I セカンドパーティオピニオン掲載のフォートレス提供資料）

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上